

平成 30 年 8 月 1 日

各 位

株式会社 エスライン

取締役会評価分析（取締役会の実効性評価結果）の 自己評価の実施と今後の対応について

当社は、取締役会の実効性と透明性を高め、企業価値を向上させることを目的として、取締役会評価分析（取締役会の実効性評価結果）を自己評価形式（記名式）で実施し、評価結果をもとに今後の対応について検討いたしましたので、お知らせいたします。

1. 評価の方法について

次の項目について、取締役及び監査等委員（合計 17 名）に、記名式アンケートを実施しました。

<アンケートの項目>

- ①取締役会の構成
- ②取締役会の役割
- ③取締役会の運営
- ④その他（コーポレートガバナンス・コード対応）
- ⑤総評

2. 評価の結果

当社取締役会は、規模・構成については適切であり、経営上の重要な意思決定及び業務執行の監督を適正に行うための体制が確保されていること、また、独立社外取締役を含め自由活発な議論が行われていることを確認いたしました。

よって、取締役会の実効性は概ね確保されていると評価しました。

しかしながら、中長期的な経営戦略及び事業戦略の方向性等、重要な経営課題についての議論が足りていないため、十分な議論と協議を重ねていくことを確認いたしました。

3. 今後の対応

前記の分析及び評価により認識された課題に対して、今後、以下にて取り組んでまいります。

- ・取締役会における経営戦略に対する議論の充実について

当期は中期経営計画の最終年度にあたり、全社一丸となって計画目標の達成を目指す仕上げの年となることから、経営戦略、重要な経営課題等については、事業戦略・会社の進むべき方向性について十分な議論と協議を重ね、意見統一を図り、実効性の高い取締役会の実現を目指します。

以 上